



## 2006年秋の交通安全運動期間内 JATMA「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 南雲忠信)は、都道府県警察・運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社(旧JH)、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2006年秋の交通安全運動期間内(9月21日~30日までの10日間)に全国で9回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表致します。

### 【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)370台、一般道路152台の合計522台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び前年対比は、別表1~3に示しました。

#### 1. タイヤの整備不良は21.6%

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両522台のうち、タイヤに整備不良があった車両は113台、不良率21.6%となっており、前回結果に比べ0.5ポイントの減少となっています。

なお、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は26.5%で8.7ポイントの減少、一般道路では9.9%で3.0ポイントの増加という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	2006年			参考(2005年)		
	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数(回)	7	2	9	5	2	7
点検車両A(台)	370	152	522	239	204	443
タイヤ整備不良車両B(台)	98	15	113	84	14	98
不良率B/A(%)	26.5	9.9	21.6	35.1	6.9	22.1
対前年増減	-8.7	3.0	-0.5			

#### 2. 不良項目別ワースト1位は「空気圧不適正」

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で8.6%、次いで「偏摩耗」5.4%「タイヤ溝不足」5.2%の順となっております。

不良率を前回結果と比較すると、「偏摩耗」が1.3ポイントの増加、「タイヤ溝不足」も0.2ポイントの増加となっているものの、「空気圧不適正」4.7ポイントの減少をはじめとし、「釘・異物踏み」「外傷」でも夫々0.7ポイント、0.1ポイントと減少しています。

また、道路別でみた不良率を前回結果と比較すると、高速道路では「空気圧不適正」を含む4項目で減少し、増加は「タイヤ溝不足」の1.3ポイントと「その他」の1.5ポイントのみ。一方、一般道路では減少が「タイヤ溝不足」2.1ポイント「その他」0.2ポイントのみで、増加が「偏摩耗」の4.6ポイント「空気圧不適正」の0.2ポイントとなっており、高速道路と逆の結果となっています。

表 - 2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年区分 項目	2006年						対前年増減		
	高速道路		一般道路		合計		高速道路	一般道路	合計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	22	5.9	5	3.3	27	5.2	1.3	-2.1	0.2
偏摩耗	21	5.7	7	4.6	28	5.4	-1.9	4.6	1.3
外傷(コードに達するもの)	4	1.1	0	0.0	4	0.8	-0.6	0.0	-0.1
釘・異物踏み	1	0.3	0	0.0	1	0.2	-1.4	0.0	-0.7
空気圧不適正	44	11.9	1	0.7	45	8.6	-12.4	0.2	-4.7
その他	24	6.5	2	1.3	26	5.0	1.5	-0.2	1.6
計	116	31.4	15	9.9	131	25.1			

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足: 45件 空気圧過多: 0件)

### 3 車両グループ別ワースト1位は「特種車」

タイヤの整備状況を車両グループ別にみると表-3の通り、不良率ワースト1位は「特種車」33.3%(8.4ポイントの減少)次いで「貨物車」25.9%(0.8ポイントの減少)「乗用車」20.4%(0.5ポイントの増加)となっており、前回結果に比べて「特種車」「貨物車」の不良率が減少しています。

グループ別の整備状況では、「乗用車グループ」では普通乗用(3)だけが6.6ポイントの増加となっています。

また、「貨物車グループ」では小型貨物(4)だけが3.0ポイント増加しているものの、それ以外では減少しており、特に普通貨物車(1)23.1ポイントの減少が目立ちます。

表 - 3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車種	点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対前年増減
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0.0
	普通乗用(3)	159	32	20.1
	小型乗用(5.7)	199	43	21.6
	軽(8.50)	49	8	16.3
	小計	407	83	20.4
貨物車	普通貨物(1)	7	0	0.0
	小型貨物(4)	72	22	30.6
	軽(6.40)	33	7	21.2
	小計	112	29	25.9
特種(8)	3	1	33.3	-8.4
合計	522	113	21.6	-0.5

**4 . 車両グループ別・項目別ワースト 1 位は乗用車・貨物車共「空気圧不適正」**

車両グループ別・項目別のワースト 1 位は表 - 4 の通り、乗用車・貨物車グループ共「空気圧不適正」となっており、不良率も「乗用車」8.6%「貨物車」8.9%となっています。

**表 - 4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳**

項目 車種	タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷(コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%		
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	8	5.0	8	5.0	1	0.6	1	0.6	11	6.9	10	6.3	39
	小型乗用(5.7)	8	4.0	14	7.0	1	0.5	0	0.0	19	9.5	9	4.5	51
	軽(8.50)	3	6.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	10.2	0	0.0	8
	小計	19	4.7	22	5.4	2	0.5	1	0.2	35	8.6	19	4.7	98
貨物車	普通貨物(1)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	小型貨物(4)	6	8.3	4	5.6	1	1.4	0	0.0	8	11.1	6	8.3	25
	軽(6.40)	1	3.0	2	6.1	1	3.0	0	0.0	2	6.1	1	3.0	7
	小計	7	6.3	6	5.4	2	1.8	0	0.0	10	8.9	7	6.3	32
特種(8)		1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計		27	5.2	28	5.4	4	0.8	1.0	0.2	45	8.6	26	5.0	131

注) 1 . 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数と

タイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2 . 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足：45件 空気圧過多：0件)

**【まとめ】**

今回の点検結果を見ると、タイヤ整備不良率の1位は例年同様「空気圧不適正」となっているものの、その不良率は前年に比べ4.7ポイントの減少と良い傾向を示しています。しかしながら、空気圧以外の「タイヤ溝不足」「偏摩耗」の項目で不良率が前年に比べ増加傾向を示していることから、当会では、今後も引き続きタイヤ点検の実施、リーフレット配付等の安全啓発活動を展開することとしています。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

技術環境部 検査事故防担当 時 田、大 高

電話 03-3435-9092までお願い致します。

## 1. 2006年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目	年別 道路別	2005年(秋)				2006年(秋)						
		高速道路	一般道路	計	高速道路		一般道路	計				
					対前年増減	対前年増減		対前年増減				
点検回数(回)		5	2	7	7	2	2	0	9	2		
点検車両A(台)		239	204	443	370	131	152	-52	522	79		
タイヤ整備不良車両B(台)		84	14	98	98	14	15	1	113	15		
不良率B/A(%)		35.1	6.9	22.1	26.5	-8.7	9.9	3.0	21.6	-0.5		
件数・不良率		件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	11	4.6	11	5.4	22	5.0	22	5.9	1.3	5	3.3
	偏摩耗	18	7.5	0	0.0	18	4.1	21	5.7	-1.9	7	4.6
	外傷(コードに達するもの)	4	1.7	0	0.0	4	0.9	4	1.1	-0.6	0	0.0
	釘・異物踏み	4	1.7	0	0.0	4	0.9	1	0.3	-1.4	0	0.0
	空気圧不適正	58	24.3	1	0.5	59	13.3	44	11.9	-12.4	1	0.7
	その他	12	5.0	3	1.5	15	3.4	24	6.5	1.5	2	1.3
	計	107	-	15	-	122	-	116	31.4	-	15	9.9
											131	25.1
											-	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」 / 「点検車両台数」 × 100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足：45件 空気圧過多：0件)

## 2. 2006年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種No.	点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計	
					タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他			
					件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
道路別	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
高速道路	普通乗用(3)	120	28	23.3	6	5.0	7	5.8	1	0.8	1	0.8	11	9.2	9	7.5	35	
	小型乗用(5.7)	148	38	25.7	8	5.4	10	6.8	1	0.7	0	0.0	19	12.8	8	5.4	46	
	軽(8.50)	19	6	31.6	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	26.3	0	0.0	6	
	計	287	72	25.1	15	5.2	17	5.9	2	0.7	1	0.3	35	12.2	17	5.9	87	
	普通貨物(1)	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
7回	小型貨物(4)	63	22	34.9	6	9.5	4	6.3	1	1.6	0	0.0	8	12.7	6	9.5	25	
	軽(6.40)	14	3	21.4	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	1	7.1	1	7.1	3	
	計	81	25	30.9	6	7.4	4	4.9	2	2.5	0	0.0	9	11.1	7	8.6	28	
	特種(8)	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
回計		370	98	26.5	22	5.9	21	5.7	4	1.1	1	0.3	44	11.9	24	6.5	116	
一般道路	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	普通乗用(3)	39	4	10.3	2	5.1	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.6	4	
	小型乗用(5.7)	51	5	9.8	0	0.0	4	7.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.0	5	
	軽(8.50)	30	2	6.7	2	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
	計	120	11	9.2	4	3.3	5	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.7	11	
2回	普通貨物(1)	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	小型貨物(4)	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	軽(6.40)	19	4	21.1	1	5.3	2	10.5	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	4	
	計	31	4	12.9	1	3.2	2	6.5	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	4	
特種(8)		1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
回計		152	15	9.9	5	3.3	7	4.6	0	0.0	0	0.0	1	0.7	2	1.3	15	
合計	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	普通乗用(3)	159	32	20.1	8	5.0	8	5.0	1	0.6	1	0.6	11	6.9	10	6.3	39	
	小型乗用(5.7)	199	43	21.6	8	4.0	14	7.0	1	0.5	0	0.0	19	9.5	9	4.5	51	
	軽(8.50)	49	8	16.3	3	6.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	10.2	0	0.0	8	
	計	407	83	20.4	19	4.7	22	5.4	2	0.5	1	0.2	35	8.6	19	4.7	98	
9回	普通貨物(1)	7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	小型貨物(4)	72	22	30.6	6	8.3	4	5.6	1	1.4	0	0.0	8	11.1	6	8.3	25	
	軽(6.40)	33	7	21.2	1	3.0	2	6.1	1	3.0	0	0.0	2	6.1	1	3.0	7	
	計	112	29	25.9	7	6.3	6	5.4	2	1.8	0	0.0	10	8.9	7	6.3	32	
特種(8)		3	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
回計		522	113	21.6	27	5.2	28	5.4	4	0.8	1	0.2	45	8.6	26	5.0	131	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足: 45件 空気圧過多: 0件)

## 3. 2005、2006年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良			タイヤ整備不良の項目内訳																			
					タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他				
		05年	06年	増減	05年	06年	増減	05年	06年	増減	05年	06年	増減	05年	06年	増減	05年	06年	増減	05年	06年	増減		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	20.4	23.3	2.9	4.1	5.0	0.9	2.0	5.8	3.8	0.0	0.8	0.8	2.0	0.8	-1.2	10.2	9.2	-1.0	6.1	7.5	1.4	
		小型乗用(5.7)	35.0	25.7	-9.3	1.7	5.4	3.7	7.5	6.8	-0.7	1.7	0.7	-1.0	0.8	0.0	-0.8	29.2	12.8	-16.4	4.2	5.4	1.2	
		軽(8.50)	53.8	31.6	-22.2	7.7	5.3	-2.4	23.1	0.0	-23.1	7.7	0.0	-7.7	0.0	0.0	0.0	30.8	26.3	-4.5	23.1	0.0	-23.1	
		計	32.4	25.1	-7.3	2.7	5.2	2.5	7.1	5.9	-1.2	1.6	0.7	-0.9	1.1	0.3	-0.8	24.2	12.2	-12.0	6.0	5.9	-0.1	
	貨物車	普通貨物(1)	26.7	0.0	-26.7	13.3	0.0	-13.3	6.7	0.0	-6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	-6.7	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	46.9	34.9	-12.0	3.1	9.5	6.4	6.3	6.3	0.0	0.0	1.6	1.6	6.3	0.0	-6.3	37.5	12.7	-24.8	3.1	9.5	6.4	
		軽(6.40)	100.0	21.4	-78.6	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	50.0	7.1	-42.9	0.0	7.1	7.1	
		計	42.9	30.9	-12.0	6.1	7.4	1.3	8.2	4.9	-3.3	0.0	2.5	2.5	4.1	0.0	-4.1	28.6	11.1	-17.5	2.0	8.6	6.6	
		特種(8)	50.0	50.0	0.0	37.5	50.0	12.5	12.5	0.0	-12.5	12.5	0.0	-12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		35.1	26.5	-8.6	4.6	5.9	1.3	7.5	5.7	-1.8	1.7	1.1	-0.6	1.7	0.3	-1.4	24.3	11.9	-12.4	5.0	6.5	1.5	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	5.0	10.3	5.3	5.0	5.1	0.1	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.6	0.1
		小型乗用(5.7)	2.6	9.8	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.0	-0.6
		軽(8.50)	7.1	6.7	-0.4	3.6	6.7	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	-3.6	0.0	0.0	0.0	
		計	4.2	9.2	5.0	2.1	3.3	1.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	-0.7	2.1	1.7	-0.4
	貨物車	普通貨物(1)	18.2	0.0	-18.2	18.2	0.0	-18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	3.8	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		軽(6.40)	21.1	21.1	0.0	21.1	5.3	-15.8	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	
		計	12.5	12.9	0.4	12.5	3.2	-9.3	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	
		特種(8)	25.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		6.9	9.9	3.0	5.4	3.3	-2.1	0.0	4.6	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.2	1.5	1.3	-0.2
合計	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	13.5	20.1	6.6	4.5	5.0	0.5	1.1	5.0	3.9	0.0	0.6	0.6	1.1	0.6	-0.5	5.6	6.9	1.3	4.5	6.3	1.8	
		小型乗用(5.7)	22.4	21.6	-0.8	1.0	4.0	3.0	4.6	7.0	2.4	1.0	0.5	-0.5	0.5	0.0	-0.5	17.9	9.5	-8.4	3.6	4.5	0.9	
		軽(8.50)	22.0	16.3	-5.7	4.9	6.1	1.2	7.3	0.0	-7.3	2.4	0.0	-2.4	0.0	0.0	0.0	12.2	10.2	-2.0	7.3	0.0	-7.3	
		計	19.9	20.4	0.5	2.5	4.7	2.2	4.0	5.4	1.4	0.9	0.5	-0.4	0.6	0.2	-0.4	13.8	8.6	-5.2	4.3	4.7	0.4	
	貨物車	普通貨物(1)	23.1	0.0	-23.1	15.4	0.0	-15.4	3.8	0.0	-3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	-3.8	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	27.6	30.6	3.0	3.4	8.3	4.9	3.4	5.6	2.2	0.0	1.4	1.4	3.4	0.0	-3.4	20.7	11.1	-9.6	1.7	8.3	6.6	
		軽(6.40)	28.6	21.2	-7.4	19.0	3.0	-16.0	4.8	6.1	1.3	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	4.8	6.1	1.3	0.0	3.0	3.0	
		計	26.7	25.9	-0.8	9.5	6.3	-3.2	3.8	5.4	1.6	0.0	1.8	1.8	1.9	0.0	-1.9	13.3	8.9	-4.4	1.0	6.3	5.3	
		特種(8)	41.7	33.3	-8.4	33.3	33.3	0.0	8.3	0.0	-8.3	8.3	0.0	-8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		22.1	21.6	-0.5	5.0	5.2	0.2	4.1	5.4	1.3	0.9	0.8	-0.1	0.9	0.2	-0.7	13.3	8.6	-4.7	3.4	5.0	1.6	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。